

## 令和7年度第3回地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館評価委員会議事概要

令和7年1月13日（火）午後6時27分～午後7時20分

旧館4階 正庁

### 【出席者】

- 委員：7名（大川内委員、音成委員、鴨打委員、古賀委員、志田委員、東島委員、力武委員）  
（50音順）
- 法人：14名（樗木理事長、田中副理事長、内藤理事、緒方理事、岡田理事、宮地理事、外8名）
- 事務局：7名（種村健康福祉部長、野田医療統括監、前山医務課長、小野医務課副課長、外3名）

### 【報告事項】

- ・「好生館理事長就任予定者」について
- ◎事務局から令和8年度からの理事長予定者について報告を行った。

### 【議事】

（1）第5期（R8～R11）中期計画（案）について

- ◎事務局から資料1により、中期計画の法的位置づけについて説明を行った。
- ◎法人から資料2及び3により、第5期（R8～R11）中期計画（案）について説明を行った。

《質疑》

主な質疑は以下のとおり。

○委員

- ・高度医療機器等の「計画的な更新整備」については、積極的な設備投資を行うということか。  
また、更新の規模はどの程度なのか。
- ・中長期の借入金についても触れられているが、財務的なリスクが想定される部分はあるか。

○法人

- ・機器更新は、基本的に老朽化した機器の補填が中心である。
- ・ロボット手術機器については採算性が悪い点は承知しているが、後進育成や外科医確保といった教育的役割もあり、一定の負担を受け入れつつ導入・活用する必要があると考えている。

○委員

「専門医や専門看護師、認定看護師などの資格取得に向けた支援」について、具体的にどのような支援が行われているのか。

○法人

専門看護師については対応していないが、認定看護師・特定看護師の資格取得に関しては受講料を全額助成している。この支援は継続して実施している。その他については、福利厚生の一環として研修費に対する補助を手厚く行っており、その制度を資格取得等にも活用できる状況にある。

○委員

地方独立行政法人化から約16年が経過したが、当時懸念されていた「法人化により県との関係が希薄になり、政策医療や不採算医療が弱まるのではないか」という点について、現在の状況は如何。また、法人化のメリットとして当時説明されていた「医師採用などが柔軟かつスピーディーにできる」という点も含め、この16年間を総括してどう評価しているか。

○法人

県からの一定の資金援助が非常に大きかったと感じている。ただし、県の支援に甘えるのではなく、それを基盤として財務面も含め様々な工夫を重ねながら運営してきた。

また、法人化により人員採用を自らの判断で行えるようになり、説明責任を果たしつつ柔軟に採用できるようになった。その結果、職員数は大幅に増加し、現在の増築も救急・感染症・災害医療など好生館の使命に沿う部署の拡充に伴うものである。これらの点から、法人化の効果を実感している。

○委員

CTや血管造影装置などの画像装置について、基本的にはメーカーの保守終了を目安に更新するという事か。

○法人

医療機器の更新は、保守期限（保守契約の年限）を1つの判断基準としている。それぞれ保守期限や性能の向上状況を踏まえながら、更新の必要性を総合的に判断している。

○委員

- ・最新機器を導入したい一方で、老朽化した機器をそのまま使用せざるを得ない状況が生じているのか。
- ・今後、人件費・薬剤費・材料費が診療報酬改定の上昇幅を上回るような状況になれば、非常に厳しい経営環境になる可能性があるため、その見通しについては如何。

○法人

- ・好生館は県からの支援がしっかりあるため、そこまで深刻な状況になっていない。しかし、保守期限の到来や故障の増加があるため、特に大型機器については「この時期までに更新が必要」という計画を立てて対応しており、現時点では計画どおりに更新できている。
- ・経営状況については、近年は非常に厳しい状態が続いているのは確かであり、削減できる部分は見直しながら運営している。

○委員

薬剤費率と材料費率は上昇している一方、人件費率は据え置きとなっている点について、もう少し詳細を伺いたい。

○法人

薬剤費率・材料費率は「病院収益に占める割合」として示しており、令和7年度の実績値よりやや低めに見積もって目標を設定している。一方で人件費率については、「病院収益の50%以下に抑

える」という法人としての方針に基づく目標値であり、この割合までは許容するという意味合いの数値である。

○委員

DPC 係数を高めるための取り組みはあるのか。例えば、他施設とのベンチマークを行い「この点をもっと改善したい」といった具体的な検討はあるか。

○法人

係数については意識しており、コンサルタントの助言を受けながら他施設のベンチマークを行い、病院で不足している点や強化すべき点を確認している。

○委員

情報セキュリティ対策について、実際にサイバー攻撃を受けた場合の具体的な対処方法など、検討している内容があれば、可能な範囲で教えてほしい。

○法人

通常のBCP（事業継続計画）とは別に、IT-BCPを策定している。これは県が実施した研修会に参加し、学んだ内容を基に作成したもの。

IT-BCPについては、関連するガイドラインに準拠していることを確認している。また、他施設で事件が発生した際には、その内容を踏まえて抜け穴がないか点検を行い、必要な対応を進めている。今後訓練を実施する予定である。

（3）経営強化プランについて

◎事務局から資料4及び5により、好生館の経営強化プランについて説明を行った。

《質疑》特段の質問や意見なし。